

第2回水景フォトコンテスト 審査結果発表

第2回目の水景フォトコンテストの課題は「秋・冬の水景」でした。

第1回目と同様に多くのご応募を頂きました。誠にありがとうございました。

第1回目のテーマ「夏」と異なり、秋・冬の水景はとても難しい課題でした。

その理由の一つに、近年、厳しい財政事情を反映して、秋・冬の季節には噴水の運転を停止してしまう自治体も多く、比較的大きい公園や施設しか水が出ていないという事情もあります。

それでも、応募者総数は200名を超え大変たくさんの作品を拝見させて頂き、心より感謝を申し上げます。

さて、第2回水景フォトコンテスト「秋・冬の水景」最優秀作品は石原宣子さんの「舞ing」に決定致しました。

皇居前和田倉門の噴水を題材にした作品です。この噴水は有名で、噴水や、滝、モニュメントからの噴水など種類だけでなく、噴水量のボリューム感も充分あるので、たくさんの方が題材に選んでいます。

「舞ing」は、滝の水幕の内側から夕暮れ時の逆光をとらえた作品です。油彩のようでもあり、点描画の様にも見え、夕日に光る噴水や池面、すっかり葉の落ちた木々がセピア色に染まっています。

「こんな風にも噴水が見えるんだ」という素直な感動を誰しもが持てる一枚です。

今回、準優秀賞は選考評がわかれて規定の得票数に達しませんでした。誠に残念ですが、今回は該当者なしで見送りとさせていただきます。

尚、候補にあがった作品13点については、記念品を贈らせて頂きます。

次回の第3回水景フォトコンテストのテーマは「夏の水景」を予定しております。どうぞお気軽にご参加ください。

最後に、ご応募いただいた皆様に改めて御礼を申し上げます。また次回もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成22年4月吉日
株式会社ドゥサイエンス
フォトコンテスト係

最優秀作



作品名 「舞ing」

石原 宣子 様